

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●宝塚記念ではミッキーロケットがG I 初制覇

6月24日(日)に行われた宝塚記念(G I)ではミッキーロケット(牡5歳/栗東・音無秀孝厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。同馬に騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、2001年天皇賞(春)以来のG I 勝利で、G I 勝利間隔17年1か月25日は、田中勝春騎手の14年10か月28日(1992年安田記念～2007年皐月賞)を更新する最長記録となります。また音無調教師は、管理馬延べ13頭目の出走で初勝利、生産者のノーザンファームは、2015年のラプリーデーから4年連続、計6度目の宝塚記念制覇となりました。

●松山将樹調教師がJRA通算100勝を達成

6月23日(土)の3回東京7日・第7レースではサムシングフレアが1着となり、同馬を管理する松山将樹調教師(美浦)は、現役147人目となるJRA通算100勝(延べ2310頭目)を達成しました。

●林満明騎手がJRA障害競走通算2000回騎乗を達成

6月23日(土)の3回東京7日・第8レースとして行われた東京ジャンプS(J・G III)でアスターサムソンに騎乗した林満明騎手(栗東・フリー)は、史上初となるJRA障害競走通算2000回騎乗を達成しました。

●藤岡佑介騎手がJRA通算700勝を達成

6月24日(日)の1回函館4日・第6レースではアスタービーナスが1着となり、同馬に騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)は、史上61人目、現役では28人目となるJRA通算700勝(8632戦目)を達成しました。

●武豊騎手がJRA・G I 競走500回騎乗を達成

6月24日(日)に行われた宝塚記念(G I)でダンビュライトに騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、史上初となるJRA・G I 競走500回騎乗を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ゴールドドリームが帝王賞(大井)でG I・Jpn I 4勝目

帝王賞(Jpn I、6月27日、大井、2000^円)は、6～7番手から内を通過して差を詰めた2番人気のゴールドドリーム(クリストフルメル騎手、牡5歳、父ゴールドアリュール)が、1番人気の昨年の覇者ケイティブレイブとの競り合いをクビ差で制しました。サウンドトゥルーが3着に入り、逃げた3番人気のティエムジンソクは6着、アウオーディーは8着、オールブラッシュは9着、アポロケンタッキーは11着に敗れています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド笠松の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド笠松は6月27日に実施され、第1戦が山口以和騎手(佐賀)、第2戦は森裕太郎騎手(栗東)が優勝しました。

●栄冠賞(門別)はイッキトウセンが優勝【各地の主要2歳重賞】

栄冠賞(6月28日、門別、1200^円)は、中団から追いつけた2番人気のイッキトウセン(牡、父プリサイスエンド)が残り200^円を切った気分で抜け出し、今年の2歳重賞勝ち馬第1号となっています。

●ラビットランらが参戦、7月5日のスパーキングレディーC

スパーキングレディーC(Jpn III、7月5日、川崎、1600^円)は、芝のG II勝ち馬ラビットランはダートが久々となる点が鍵で、ワンミリオンズ、ブランシェクール(大井)、オウケンビリーヴ、リエノテソーロまでが争奪圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●英ロイヤルアスコット開催～ポエッツワードがG 1 初制覇

イギリス王室が主催するロイヤルアスコット開催がロンドン郊外のアスコット競馬場で6月19日～23日まで行われました。5日間で8つのG 1を含む計19の重賞が施行されるこの開催で最も賞金が高いG 1 プリンズオブウェールズS(2日目=20日、総賞金75万^{ポンド}≈約1億1400万円/1^{ポンド}152円で換算、芝9^{フurl}212^{ヤード})を制したのは地元イギリスのポエッツワード(牡5歳、父ポエツヴォイス、M. スタウト厩舎)。昨年のG 1 英チャンピオンSを7馬身差で圧勝し、今シーズンもG 1 ガネー賞、G 1 コロネーションCと連勝中だったクラックスマンを2馬身^{1/4}差を下してG 1 初制覇を果たしました。今後が大いに楽しみになったのは初日のG 1 セントジェームズパレスS(3歳牡馬限定、芝7^{フurl}213^{ヤード})を制したウィズアウトパロール(父フランケル、J. ゴスデン厩舎)。G 1 愛2000ギニー3着馬グスタフクリムトに半馬身差をつけて優勝し、これで昨年12月のデビューから4連勝。2011年にこのレースを同じく無敗で制した父フランケルとの父子制覇となりました。なお、初日の開幕レースであるG 1 クイーンアンS(芝8^{フurl})にはハーツクライ産駒の日本産馬で、アメリカ調教馬のヨシダ(牡4歳)が出走。見せ場を作りましたが、5着に終わっています。